



やあ!とこっとだよ!
今日は、理学療法士のかっしい先生の視点と
保育士のえいみい先生の視点から保護者さんの困
り事について、お話を聞いてみよう!!



くまです。
うちの子は、よく壁にぶつかったり、転んだりして
けがをします。
どうしてでしょうか?
教えて!かっしい先生!!えいみい先生



かっしい先生



くまさんの場合、一つのことに集中して周りが見えていないこともあるかもしれ
ないですね。とことんでは、足元や頭上に注意を向けられるような遊びを提供し
たり、こちらが注意してほしい部分を見れるような練習をします。

いぬさんの場合は、年齢にも関係はあると思いますが食事の場面では、
テレビやおもちゃを見える場所に置かないように環境の設定を行うことも
必要かもしれませんね。
とことんでは、椅子に座って遊んだり椅子に座って行うプログラムを多く取り入れ、
椅子に座る練習にも取り組みます。

方法は、十人十色なので、その子にあったプログラムを提供し
スモールステップで進めていきます!



かっしい先生

とっても丁寧に体を見てくれる、
優しく頼もしい とことんの理学療法士さん

動物占いは「信念を貫く こじか」



いぬです。
うちの子は、食事を最後まで座って食べないのです。
幼稚園でも、みんなと一緒に座って活動ができません。
どうしてでしょうか?
教えて!かっしい先生!!えいみい先生!!



くまさんの場合、お子さんの体幹筋の弱さや、ボディイメージ
(※1)の未熟さが見られる場合があります。とことんでは、「転
けにくい」体づくりだけでなく、手や足を瞬時に出して自分で
とっさの危機回避ができるような遊びを通して訓練します。

いぬさんの場合、座っての活動には体幹筋の強さや足裏の
感覚からくる刺激がとっても大切です。とことんでは、ふれあい
ウォークの中で、ジャンプなどの大きな運動の中で全身の筋出
力を上げたり、感覚の取り込みを活発にして始まりの会での
「椅子に座る」準備をしっかりを行います。

1人ひとり、好きな遊びと苦手なことをうまく掛け合わせて
訓練していきます!!



※1. ボディイメージとは、脳の中にある自分の体に対するイメージの
ことです。一つひとつ自分の動作を目で見確認しなくても、
無意識にでも思ったところに手足を伸ばすことができるのは
ボディイメージが育っているということですね。